

証券コード：2397

# 第15期 事業報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

# 株主の皆様へ



代表取締役社長  
的場 亮

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

バイオテクノロジー分野は目覚しく進歩しており、常に新しい技術が開発され、それをを用いた新しい発見、研究成果などから、様々な産業分野への応用が広がっています。

特に、医療分野における影響は大きく、その結果として、年々平均寿命が伸びてきています。少子高齢化社会を迎え、予防医療を実践するためのバイオマーカー及び機器開発、社会インフラ整備が必要とされています。

DNAチップ研究所は設立以来、ライフサイエンス分野を通じて、遺伝子やゲノム研究のエキスパートとして優れた技術

開発をしながら、世の中に役立つ、研究開発、商品開発を行い、サービスを展開してまいりました。そしてさらに、最新の技術を取り入れるとともに、独自技術開発により最先端の研究開発ができる体制を整えて、日本で、世界で急速に進みつつある高齢化社会に向けて、誰もが健やかに、幸せに暮らせるためのツール開発を行ってまいります。

## 当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和の実施、また円安、株高を背景として企業景気観が改善するなど、景気全般に明るい兆しが見えてまいりました。一方、欧州の財政危機、新興国経済の減速、加えて消費税率の引き上げ等、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社を取り巻くライフサイエンス分野においては、政府が「日本再興戦略」の中で、「病気や介護を予防し、健康を維持して長生きできる社会の実現」を目標とすると同時に、「健康・医療関係産業における国際競争力の強化を目指す」との方針を打ち出しております。

また、「再生医療」分野においては、山中伸弥京都大学教授iPS研究センター(2012年ノーベル医学生理学賞受賞)や、文部科学省によるiPS細胞の実用化研究に対する研究費助成の拡充など、国内では臓器再生や創薬研究などiPS細胞を活用した様々な分野への期待が高まっており、「再生医療」の市場規模は大きく拡大すると予測されています。これらは、当社が属するライフサイエンス業界にとって、今後の明るい材料となっております。

このような状況下において、当期の目標を「研究開発から事業化へ加速」と定め、研究受託事業の重点化とメニューの充実及び診断関連事業拡充による収益構造の改革を推進してまいりました。

この結果、当期の売上高は、349百万円(前期比93.9%)、営業損失は44百万円で、経常損失は44百万円、当期純損失は45百万円となりました。

## ■ 研究受託

大学や研究機関、製薬・食品会社等を主な顧客としてDNAチップ、次世代シーケンス関連の解析や統計処理等を行っております。主要なサービスとして受託サービスと診断サービスがあります。

### i. 受託サービス

マイクロアレイを使用した受託解析サービスと次世代シーケンス解析サービスが主力のサービスであります。

マイクロアレイ受託解析サービスでは、製薬会社、食品会社等への提案型営業を行うとともに、大学病院、研究所等の顧客に対しては、きめ細かなフォローを推進しました。また、次世代シーケンス解析サービスでは、お客様との対話を重視し、ニーズを把握するとともに、新規サービスメニューの拡充を図ってまいりました。いずれのサービスも新規顧客数ならびにリピート顧客数を拡充しております。

### ii. 診断サービス

リウマチ総合診断支援サービス拡販の一環として、リウマチ多剤効果判定のサービス開始に向けβテストを実施中です。また、診断マーカー、発現プロファイルデータなどのビジネス化を推進するとともに、新たなコンパニオン診断薬(注1)開発支援事業を推進するため、医薬品開発と一体化した診断マーカー開発への参入を推進しました。

その結果、当期の売上高は、335百万円(前期比97.8%)となりました。

## ■ 商品販売

DNAチップ解析を体験できるキット「ハイブリ先生」を医薬・理系大学、高等学校、専門学校に対して、iPad環境(その互換環境を含む)で稼動するソフトウェア・パッケージ製品「iRIS:関節リウマチ問診システム」を医療機関の関節リウマチの診断現場に対して、それぞれ受注拡大を推進し、当期は「ハイブリ先生」を31セット、iRISを13セットそれぞれ販売いたしました。また、DNA抽出用キット「TBONE EX Kit」をDNA鑑定実施機関の警察機関、大学法医学を中心に販売を拡充いたしましたが、利益率の確保が難しい一般機器の販売は積極的にには行わないこととしたため、売上高は減少しました。

その結果、当期の売上高は、133百万円(前期比47.5%)となりました。  
(注1) コンパニオン診断薬:患者ごとに医薬品の有効性や安全性を投与前に判断するための診断検査法。コンパニオン診断薬を使えば特定の治療薬が効く可能性の高い患者を選別できるため、臨床面では高い治療効果が得られ、無駄な治療をしないで済む。

平成26年6月

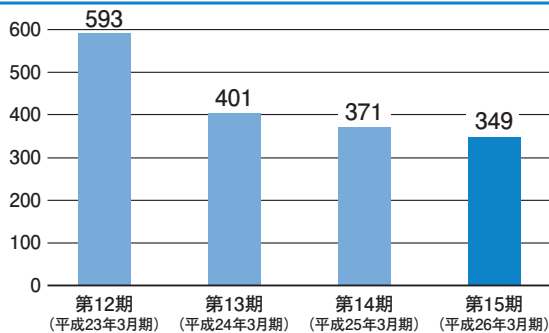
代表取締役社長 的場 亮

## Contents

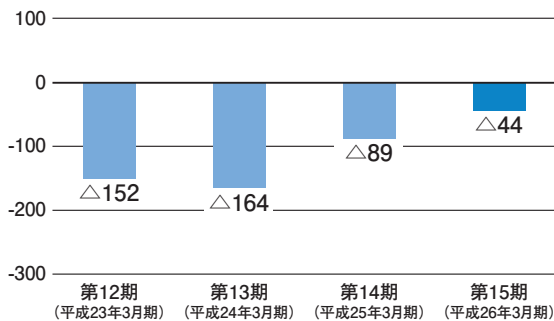
● 株主の皆様へ	1	● 事業の内容	5
● 財務諸表	3	● 会社の概況	6



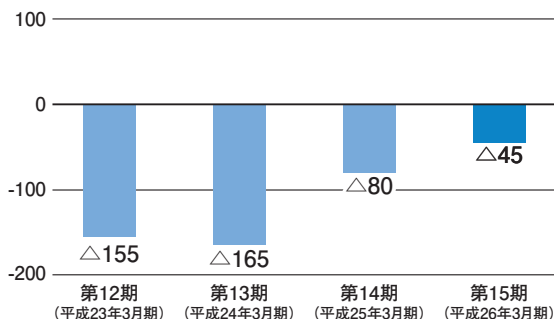
### ■ 売上高 (単位：百万円)



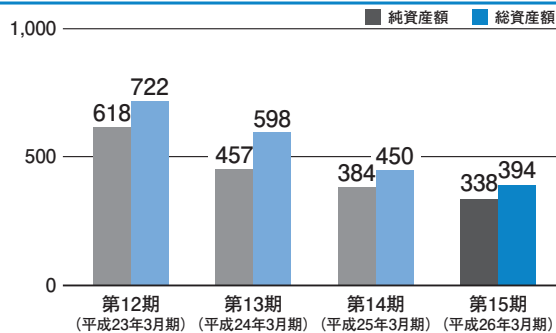
### ■ 経常利益 (単位：百万円)



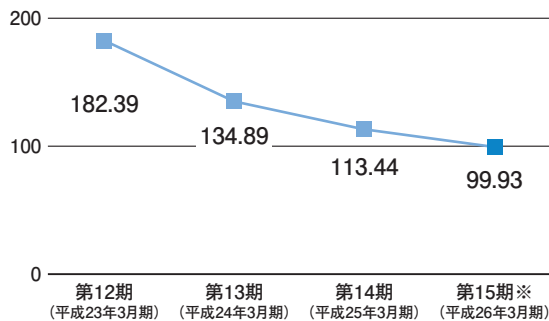
### ■ 当期純利益 (単位：百万円)



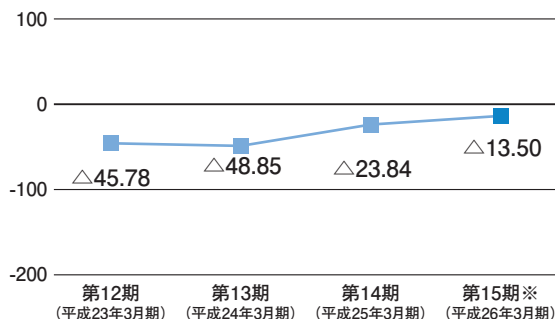
### ■ 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



### ■ 1株当たり純資産額 ※ (単位：円)



### ■ 1株当たり当期純利益 ※ (単位：円)



※当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、当期純利益を算定しております。

# 財務諸表

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成25年3月31日	当事業年度 平成26年3月31日	科目	前事業年度 平成25年3月31日	当事業年度 平成26年3月31日
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>431,341</b>	<b>373,601</b>	<b>流動負債</b>	<b>63,711</b>	<b>52,981</b>
現金及び預金	265,692	226,135	買掛金	35,979	21,866
受取手形	24,331	25,920	未払金	793	7,350
売掛金	125,234	93,354	未払消費税等	3,913	1,974
商品	8,676	4,937	未払法人税等	3,298	3,541
仕掛品	—	11,267	未払費用	17,311	17,217
貯蔵品	—	4,445	預り金	2,414	1,030
前払費用	7,300	6,964	<b>固定負債</b>	<b>1,795</b>	<b>2,300</b>
その他	106	576	退職給付引当金	1,795	2,300
<b>固定資産</b>	<b>18,679</b>	<b>20,417</b>	<b>負債合計</b>	<b>65,507</b>	<b>55,281</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>17,341</b>	<b>18,726</b>	<b>純資産の部</b>		
建物	76	66	<b>株主資本</b>	<b>384,513</b>	<b>338,737</b>
工具、器具及び備品	17,264	18,660	資本金	1,116,368	1,116,368
<b>無形固定資産</b>	<b>582</b>	<b>1,484</b>	資本剰余金	1,028,918	1,028,918
施設利用権	582	582	資本準備金	1,028,918	1,028,918
ソフトウェア	—	902	利益剰余金	△1,760,772	△1,806,549
<b>投資その他の資産</b>	<b>756</b>	<b>206</b>	その他利益剰余金	△1,760,772	△1,806,549
投資有価証券	0	0	繰越利益剰余金	△1,760,772	△1,806,549
その他	756	206	<b>純資産合計</b>	<b>384,513</b>	<b>338,737</b>
<b>資産合計</b>	<b>450,021</b>	<b>394,018</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>450,021</b>	<b>394,018</b>



## 損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度		当事業年度	
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日		自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	
売上高	371,866		349,065	
売上原価	311,555		251,073	
売上総利益	60,311		97,992	
販売費及び一般管理費	150,224		142,773	
営業損失(△)	△	89,913	△	44,781
営業外収益	54		50	
受取利息	54		50	
その他	0		0	
営業外費用	32		12	
その他	32		12	
経常損失(△)	△	89,890	△	44,743
特別利益	24,484		—	
投資有価証券売却益	24,484		—	
特別損失	14,455		83	
固定資産除却損	1,176		83	
事務所移転費用	13,278		—	
税引前当期純損失(△)	△	79,860	△	44,826
法人税、住民税及び事業税	950		950	
法人税等調整額	—		—	
当期純損失(△)	△	80,810	△	45,776

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度		当事業年度	
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日		自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	
営業活動による キャッシュ・フロー	△49,522		△34,463	
投資活動による キャッシュ・フロー	54,213		△5,094	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,691		△39,557	
現金及び現金同等物の 期首残高	261,001		265,692	
現金及び現金同等物の 期末残高	265,692		226,135	

## 株主資本等変動計算書

(自平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	1,116,368	1,028,918	1,028,918	△1,760,772	△1,760,772	384,513	—	—	384,513
当期変動額									
当期純損失				△45,776	△45,776	△45,776			△45,776
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	△45,776	△45,776	△45,776	—	—	△45,776
当期末残高	1,116,368	1,028,918	1,028,918	△1,806,549	△1,806,549	338,737	—	—	338,737

# 事業の内容

## ■ 研究開発

DNAチップ研究所は、ライフサイエンス研究とバイオ産業に貢献する研究開発型ベンチャー企業です。以下を常に心がけ、研究に取り組んでいます。

1. 「創造的革新」をモットーに
2. グローバル化を意識した最高レベルの技術を磨き
3. 信頼関係に基づく共同研究と自己啓発に努め
4. 国際的情報収集、先進的情報解析能力を駆使し
5. この分野で第一の研究ベンチャーとして
6. レベルの高い研究成果を出すのに貢献する

## ■ 研究テーマ

### →RNAチェック™

- 関節リウマチに関する研究
- 大腸癌診断用チップの開発とそれを用いたステージⅡ大腸癌の予後予測
- 悪性神経膠腫（グリオーマ）の予後予測アルゴリズムの開発
- 疲労
- 免疫年齢

## ■ 受託サービス

異なるプラットフォームを用いた多面的な研究受託サービスメニューの提供をいたします。実験計画のお手伝いから、実験、統計解析、論文作成など専門のスタッフが細やかにサポートいたします。



- マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム構造解析、メチレーション解析
- Real Time PCRによる遺伝子発現解析、miRNA発現解析
- 次世代シーケンサを用いた遺伝子発現解析、メチレーション解析
- 統計解析サービス

## ■ 製品／診断サービス（研究用）

### 製品

-  ハイブリ先生 教育用DNAチップ教材
-  TBONE EX Kit：硬組織（歯牙・骨）用DNA抽出キット

### 診断サービス（研究用）

-  リウマチチェック 関節リウマチ生物学的製剤インフリキシマブの効果予測検査サービス
- iCIS 臨床現場で研究に必要なデータをデータベース化する臨床インフォマティクス支援ソリューション
- iRIS 臨床現場向けの簡易な症状入力と診断情報の入力可能な関節リウマチ問診システム
-  MammaPrint（マンマプリント） 乳癌の再発リスクを予測する新しい検査サービス



# 会社の概況

## ■ 会社概要

**会社名** 株式会社 DNAチップ研究所  
**英文名** DNA Chip Research Inc.  
**設立年月日** 1999年4月1日  
**住所** 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-43  
**資本金** 111,636万円  
**従業員** 21名 (内Ph.D. 8名 役員含)  
**役員** 代表取締役社長 的場 亮  
 取締役 リム チュンレン  
 社外取締役 田村 卓郎  
 社外取締役 片山 登喜男  
 社外監査役 今井 庸介  
 監査役 大塚 榮子  
 社外監査役 吉田 春樹  
**加盟団体** 社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)  
 財団法人バイオインダストリー協会(JBA)  
 NPO法人 バイオチップコンソーシアム (JMAC) 等

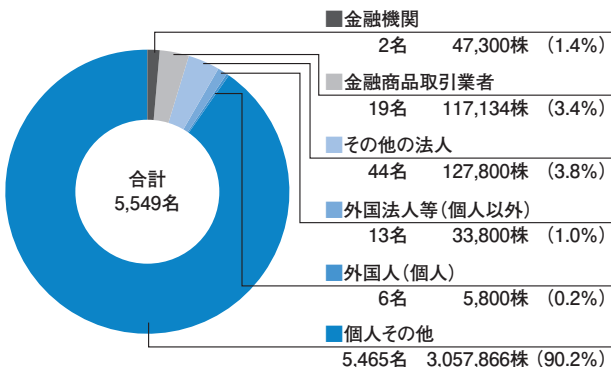
## ■ 株式の状況

①発行可能株式総数 10,080,000株  
 ②発行済株式総数 3,389,700株  
 ③株主数 5,549名

## ■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
松原 謙一	70,000株	2.06%
森 淳彦	70,000株	2.06%
井上 伸一	63,500株	1.87%
枝松 七郎	63,400株	1.87%
大塚 榮子	48,000株	1.41%
藤尾 晋作	47,900株	1.41%
日本証券金融(株)	47,200株	1.39%
杉山 次郎	32,300株	0.95%
加藤 菊也	32,000株	0.94%
湯川 恵子	32,000株	0.94%

## ■ 株主分布状況



## ■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当 3月31日（期末配当金）

受領株主確定日 9月30日（中間配当金）

定時株主総会 6月

公告掲載方法 電子公告  
電子公告は当社のホームページに記載しております。  
ホームページアドレス  
(<http://www.dna-chip.co.jp/>)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の  
口座管理機関 東京証券代行株式会社  
東京都千代田区大手町二丁目6番2号  
(日本ビル4階)

(郵便物送付先)  
連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711（通話料無料）

### ・住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申出ください。

### (ご案内)

少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## ■ 当社ホームページのトップ画面



<http://www.dna-chip.co.jp/>